

北海道
道南地区農協青年部協議会
ポリシーブック2014
～若手農業者における政策提言～



JA YOUTH

道南地区農協青年部協議会

ポリシーブック 2014

目次

1. 将来の道南農業の持続、そして価値を高めるために何ができるのか・・・p1～2
2. 盟友との繋がりを深め地区活動に反映する・・・・・・・・・・・・・・・・・・p3～4

道南地区青年部 ポリシーブック 2014

課題（題目）：将来の道南農業の持続、そして価値を高めるために何ができるのか

① ねらい

農業センサスを用いた北海道農業・農村の動向予測によると道南地域も寡聞に漏れず 10 年後の農家人口は現在の半分になるとされ、そのような中、我々青年部が将来に向け何が出来るのかを模索し行動する。

② 現場の現状

- ・ 10 年後には農家人口が半分になるとの予測があるが、その対策として何も目に見える形で示されていない。
- ・ TPP や農業改革等のめまぐるしい政策転換により安定した経営が難しく、将来に不安を抱えている。

③ 考え方

- ・ 我々がこの先営農を続けていく上で、安定した経営を行うため何が必要なのかを行政・関係機関などと現状を含めた意見交換をし、それを基に自分たちに何ができるかを話し合いを行い、最終的には政策提言を行っていく。

④ 個人・青年部で取組むこと

- ・ 現状をしっかりと把握する。
- ・ 道南の農業振興のために何が必要か考えまとめる。
- ・ 農村ホームステイの趣旨や目的に対する理解を深める。

⑤ JA として行うこと

- ・ 現状の情報提供。
- ・ 将来、どのような農業振興ビジョンを描いているかの情報提供。

⑥ 行政へ要請すること

- ・ 上記⑤と同様

⑦ その他（上記に当てはまらない事項等）

道南地区農協青年部協議会「ポリシーブック2014」【Do(実行)・Check(検証)シート(計画に沿って実行・実行した事が計画に沿っているか又は実行に移せているか確認)】

地区名	
課題	将来の道南農業の持続、そして価値を高めるために何が出来るのか
着地点	現状を把握した上での政策提言をおこなう

～全地区が確実に取組む事ができるポリシーブックにするために～
 ≪PDCAサイクルに基づいた5W1Hを作成する≫

※該当しない項目には「-」を入力して下さい。

個人・青年部で取組むこと		実施月日 (When)	場所 (Where)	参加対象・人数 (Who)	取組内容 (What)	取組方法 (How)
1	現状をしっかりと把握する		未定	渡島・松山振興局	道南農業の現状と将来ビジョンの意見交換	道南役員との意見交換
2	道南の農業振興のために何が必要か考えまとめる	役員会開催時	会議会場	役員全員	意見交換した内容を基に自分たちにどんな事が必要かまとめる	グループワーク等の話し合い
3	農村ホームステイの趣旨や目的に対する理解を深める。	冬期部員研修		盟友・女性部・教育委員会・教職員・農協	今、農業を理解してもらうための手法の一つ「農村ホームステイ」の紹介を含めノースプロダクション近江さんの講演	講演・パネルディスカッション
4						
5						

JAとして行うこと(行って頂きたいこと)		時期・いつ (When)	場所・どこで (Where)	人・誰が (Who)	物・何を (What)	方法・どうやって (How)
1	現状の情報提供	随時	役員会の場	中央会等	みんなが求める必要な情報	資料や口答で
2	将来、どのような農業振興ビジョンを描いているかの情報提供	同上	同上	同上	同上	同上
3						
4						

行政へ要請すること		時期・いつ (When)	場所・どこで (Where)	人・誰が (Who)	物・何を (What)	方法・どうやって (How)
1	上記JAとして行うことと同様					
2						
3						

結果・反省・今後の展望など

道南地区青年部 ポリシーブック 2014

課題（題目）：盟友との繋がりを深め地区活動に反映する	
①	<p>ねらい</p> <p>地区盟友が今以上に共通の意識を持った中で組織活動の実践を行うことにより、結束力を高め将来の道南農業の担い手として互いに研鑽する。</p>
②	<p>現場の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区事業に参加する盟友が減少してきている。 ・地区青年部を知らない・理解していない盟友がいる。
③	<p>考え方</p> <p>地区青年部として盟友みんなが出席しやすく、魅力と価値のある事業を計画、実施をして行く。</p>
④	<p>個人・青年部で取組むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状の把握 ・現状を把握した上で今後何が必要か話し合い事業として計画し実行する。
⑤	<p>JA として行うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画した事業へのバックアップ ・活動に対する金銭面の支援
⑥	<p>行政へ要請すること</p> <p>上記⑤と同じ</p>
⑦	<p>その他（上記に当てはまらない事項等）</p>

道南地区農協青年部協議会「ポリシーブック2014」【Do(実行)・Check(検証)シート(計画に沿って実行・実行した事が計画に沿っているか又は実行に移せているか確認)】

地区名	
課題	盟友との繋がりを深め地区活動に反映する。
着地点	盟友皆が団結し真の仲間となるよう努める

～全地区が確実に取組む事ができるポリシーブックにするために～
 ≪PDCAサイクルに基づいた5W1Hを作成する≫

※該当しない項目には「-」を入力して下さい。

個人・青年部で取組むこと		実施月日 (When)	場所 (Where)	参加対象・人数 (Who)	取組内容 (What)	取組方法 (How)
1	現状の把握	8月18日	農業会館	渡島・檜山南部盟友・役員	盟友から見た道南地区青年部協議会とは	グループワーク
2	現状を把握した上で今後何が必要か話し合い事業として計画	随時		役員	盟友が望む事業を計画、また会議等のあり方について議論	会議内で時間を作り話し合い
3						
4						
5						

JAとして行うこと(行って頂きたいこと)		時期・いつ (When)	場所・どこで (Where)	人・誰が (Who)	物・何を (What)	方法・どうやって (How)
1	計画した事業へのバックアップ	随時		JA	物、資料など自分たちで用意しきれない事、物の手配や準備	
2	活動に対する金銭面の支援	随時		JA	計画した事業に対する不足分の援助	
3						
4						

行政へ要請すること		時期・いつ (When)	場所・どこで (Where)	人・誰が (Who)	物・何を (What)	方法・どうやって (How)
1	JAとして行うことと同様					
2						
3						

結果・反省・今後の展望など